

# 17. 予 防 接 種

## [1] 定期予防接種（予防接種法）

感染症の発生及びまん延を予防するため、法令で定められた疾病（ポリオ・ジフテリア・百日せき・破傷風・麻しん・風しん・日本脳炎・結核・Hib・小児の肺炎球菌・ヒトパピローマウイルス・インフルエンザ）の予防接種を行なっている。対象者に通知し、区内契約医療機関で実施している。

平成24年9月1日から不活化ポリオワクチンの導入に伴い、経口ポリオ生ワクチン（春・秋実施）集団接種は定期予防接種外となった。また、11月1日からはDPT-IPVの四種混合ワクチン、平成25年4月1日からはHib、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチン、平成26年10月1日からは、水痘（みずぼうそう）、高齢者肺炎球菌ワクチンが定期接種化された。平成28年10月1日からはB型肝炎ワクチンが定期接種化された。平成31年2月1日から風しん第5期が追加された。令和2年10月1日からロタウイルスワクチンが追加された。

### 予防接種法令等の改正（平成22年度以降について記載）

対象疾病(ワクチン)	年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	
結核	BCG														
ジフテリア(D) 百日せき(P) 破傷風(T) ポリオ (OPV,IPV)	三種混合 (DPT)														
	四種混合 (DPT-IPV)														
	生(OPV)														
	不活化 (IPV)														
麻しん 風しん	1期 2期														
	3期 4期														
	風しん5期														
日本脳炎 (新ワクチン)	1期	17.5.30~													
	2期	接種差し控え													
Hib感染症															
小児用肺炎球菌															
水痘(水ぼうそう)															
おたふくかぜ															
ロタウイルス															
ヒトパピローマウイルス	子宮頸がん 予防														
B型肝炎ウイルス															
高齢者肺炎球菌															

凡例		定期予防接種
		定期予防接種(改正後)
		任意予防接種

□定期予防接種一覧

対象疾病（ワクチン）		予防接種法による対象年齢	通知の対象年齢
結核	BCG	1歳に至るまで	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)
ジフテリア(D) 百日せき(P) 破傷風(T) 急性灰白髄炎 (ポリオ/P)	不活化ポリオ[1期初回]	生後2か月以上 7歳半に至るまで	—
	不活化ポリオ[1期追加]		
	DPT[1期初回]	生後2か月以上 7歳半に至るまで	—
	DPT[1期追加]		
	DPT-IPV[1期初回]	生後2か月以上 7歳半に至るまで	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)
	DPT-IPV[1期追加]		
	DT[第2期]	11歳以上13歳未満	11歳の誕生月翌月に通知
麻しん 風しん	麻しん・風しん混合 MR[1期]	1歳以上2歳に至るまで	生後11か月に達した者 (1歳の誕生月の前月末に通知)
	麻しん・風しん混合 MR[2期]	5歳以上7歳未満で、 小学校就学前の1年間 (就学前年度4/1~3/31)	小学校就学の1年前に通知
	風しん[5期] 令和6年度末までの 時限措置	昭和37年4月2日から昭和54 年4月1日に生まれた男性	令和元年5月に昭和47年4月2 日から昭和54年4月1日生まれ の男性に、令和2年3月に昭和37 年4月2日から昭和54年4月1 日生まれの男性に通知
日本脳炎	1期初回	生後6か月以上 7歳半に至るまで	3歳に達した者 (3歳児健診通知に同封)
	1期追加		
	2期	9歳以上13歳未満	9歳の誕生月翌月に通知
Hib感染症	1期初回	生後2か月以上 5歳に至るまで	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)
	1期追加		
肺炎球菌感染症 (小児)	1期初回	生後2か月以上 5歳に至るまで	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)
	1期追加		
水痘 (みずぼうそう)	—	1歳以上3歳に至るまで	生後11か月に達した者 (1歳の誕生月の前月末に通知)
B型肝炎	—	1歳に至るまで	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)
ロタウイルス ワクチン	1価	生後24週0日まで	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)
	5価	生後32週0日まで	
ヒトパピローウイルス 感染症	※平成9から17年度 生まれの女子は 令和4から6年度まで キャッチアップ対象	12歳となる日の属する年度 の初日から16歳となる日の 属する年度の末日までの間に ある女子	中学1年生の女子 ※積極的勧奨が再開した令和4年 度に、中学1年生から高校1年 生、キャッチアップ対象者へ通知
肺炎球菌感染症 (高齢者)	※令和5年度まで 経過措置	対象年度期間内	当該年度65歳,70歳,75歳,80 歳,85歳,90歳,95歳,100歳に 達した者、60~64歳の特定疾患 のある者
高齢者 インフルエンザ	※接種期間 10月1日から1月31日	65歳以上 (特定疾病者は60歳以上)	12月末現在で65歳に達する者

## (1) BCG、DPT/DT、ポリオ（IPV）、DPT-IPV

□実績

(単位：人)

年度	区分	BCG	三種混合 (DPT)		二種 混合 (DT)	不活化ポリオ (IPV)		四種混合 (DPT - IPV)	
			1 期初回	1 期追加	2 期	1 期 初回	1 期 追加	1 期 初回	1 期 追加
30	対象者(延)	2,141			1,552			6,423	2,141
	実施者(計)	1,967			707	6	25	6,102	2,018
	接種率(%)	91.9			45.6			95.0	94.3
元	対象者(延)	2,044			1,582			6,132	2,044
	実施者(計)	2,024			914	0	5	6,117	1,976
	接種率(%)	99.0			57.8			99.8	96.7
2	対象者(延)	1,976			1,607			5,928	1,976
	実施者(計)	1,869			1,103	0	2	5,573	1,973
	接種率(%)	94.5			68.6			94.0	99.8
3	対象者(延)	2,024			1,629			6,072	2,024
	実施者(計)	1,854			1,111	0	6	5,693	1,771
	接種率(%)	91.6			68.2			93.8	87.5
4	対象者(延)	1,914			1,658			5,742	1,914
	実施者(計)	1,856			1,064	1	5	5,628	1,679
	接種率(%)	97.0			64.2			98.0	87.7

(注1) 四種混合ワクチン（DPT-IPV）は平成24年11月1日から開始。

(注2) BCGは平成26年度から区内医療機関での個別接種とした。

## (2) 日本脳炎、高齢者インフルエンザ

□実績

(単位：人)

年度	区分	日本脳炎						インフルエンザ (高齢者)
		1 期初回 (7 歳 6 か月に至 るまで)	1 期追加 (7 歳 6 か 月に至る まで)	1 期初回 (7 歳 6 か 月～20 歳 未満)	1 期追加 (7 歳 6 か 月～20 歳 未満)	2 期 ( 9 歳～ 13 歳未 満)	2 期 (13 歳～ 20 歳未 満)	
30	対象者(延)	3,564	1,782			1,632		58,574
	実施者(計)	4,005	1,669	115	192	1,027	310	24,375
	接種率(%)	112.4	93.7			62.9		41.6
元	対象者(延)	4,174	2,087			1,653		58,253
	実施者(計)	3,784	1,760	140	110	1,136	245	25,702
	接種率(%)	90.7	84.3			68.7		44.1
2	対象者(延)	3,974	1,987			1,663		57,912
	実施者(計)	3,690	1,657	167	157	1,113	271	37,063
	接種率(%)	92.8	83.3			66.9		64.0
3	対象者(延)	2,664	1,332			1,673		58,039
	実施者(計)	3,080	872	117	82	560	146	30,819
	接種率(%)	115.6	65.5			33.5		53.1
4	対象者(延)	<b>3,558</b>	<b>1,779</b>			<b>1,755</b>		<b>57,992</b>
	実施者(計)	<b>3,402</b>	<b>1,857</b>	<b>56</b>	<b>72</b>	<b>1,600</b>	<b>227</b>	<b>36,144</b>
	接種率(%)	<b>95.6</b>	<b>104.4</b>			<b>91.2</b>		<b>62.3</b>

(注1) 日本脳炎については、平成21年に新ワクチン(乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン)が承認され、平成22年4月1日から3歳に対して、第1期の積極的勧奨が再開された。平成22年8月27日からは第2期でも新ワクチンの接種が可能となり、同時に第2期の対象年齢で第1期接種完了していない方について、第1期の接種が可能となった。

平成23年5月20日からは、積極的勧奨の差し控えにより予防接種の機会を逸した者(平成7年6月1日生まれから平成19年4月1日生まれまでの者)のうち7歳6か月以上9歳未満および13歳以上20歳未満の者についても、定期の予防接種の対象となった。

平成25年4月1日からは、平成7年4月2日生まれから平成7年5月31日生まれまでの者が、積極的勧奨の差し控えによる予防接種の機会を逸した者として追加された。

(注2) 平成28年4月1日から、平成19年4月2日生まれから平成21年10月1日生まれの者は、9歳から13歳未満の間に1期の不足分を定期予防接種として接種できるようになった。

## (3) 麻しん風しん (MR)

□実績

(単位：人)

年度	区分	麻しん風しん混合 (MR)			(再掲) 未接種者個別勧奨		
		対象者 (延)	実施者 (計)	接種率 (%)	勧奨者 (A)	勧奨後 接種者 (B)	接種率 (A)/(B) (%)
30	1 期	2,086	2,049	98.2			
	2 期	1,729	1,593	92.1	481	256	53.2
	風しん		0				
元	1 期	2,087	1,994	95.5			
	2 期	1,798	1,624	90.3	524	266	50.8
	風しん		0				
2	1 期	1,922	1,893	98.4			
	2 期	1,849	1,685	91.1	469	237	50.5
	風しん		0				
3	1 期	1,842	1,714	93.1			
	2 期	1,780	1,664	93.5	487	267	54.8
	風しん		0				
4	1 期	1,872	1,790	95.6			
	2 期	1,816	1,592	87.7	583	286	49.0
	風しん		0				

(注) 麻しん・風しん混合ワクチン2期未接種者(12月までの未接種者及び23区相互乗り入れによる接種者含む)に対する個別勧奨を2月に実施している。

## (4) H i b

□実績

(単位：人)

年度	区分	接種時期	対象者数	実施者数 (計)	接種率 (%)
30		第1回目	2,141	2,065	96.5
		第2回目	2,141	2,048	95.7
		第3回目	2,141	2,049	95.7
		追加	2,141	1,975	92.2
元		第1回目	2,044	1,988	97.3
		第2回目	2,044	2,004	98.0
		第3回目	2,044	1,963	96.0
		追加	2,044	1,857	90.9
2		第1回目	1,976	1,779	90.0
		第2回目	1,976	1,843	93.2
		第3回目	1,976	1,952	98.7
		追加	1,976	2,056	104.0
3		第1回目	2,024	1,957	96.7
		第2回目	2,024	1,912	94.5
		第3回目	2,024	1,874	92.6
		追加	2,024	1,734	85.7
4		第1回目	1,914	1,891	98.8
		第2回目	1,914	1,899	99.2
		第3回目	1,914	1,872	97.8
		追加	1,914	1,829	95.6

(注) 平成22年4月から平成25年3月まで、インフルエンザ菌b型による感染症(髄膜炎、敗血症、蜂巣炎、関節炎、咽頭蓋炎、肺炎及び骨髄炎など)の予防を目的として、一部助成を行っていた。平成25年4月から、定期予防接種となった。

## (5) 肺炎球菌（小児）

□実績

(単位：人)

区分 年度	接種時期	対象者数	実施者数 (計)	接種率 (%)
30	第1回目	2,141	2,069	96.6
	第2回目	2,141	2,056	96.0
	第3回目	2,141	2,056	96.0
	追加	2,141	1,985	92.7
元	第1回目	2,044	2,003	98.0
	第2回目	2,044	2,034	99.5
	第3回目	2,044	2,037	99.7
	追加	2,044	1,958	95.8
2	第1回目	1,976	1,777	89.9
	第2回目	1,976	1,832	92.7
	第3回目	1,976	1,895	95.9
	追加	1,976	1,985	100.4
3	第1回目	2,024	1,962	96.9
	第2回目	2,024	1,918	94.8
	第3回目	2,024	1,874	92.6
	追加	2,024	1,739	85.9
4	第1回目	1,914	1,886	98.5
	第2回目	1,914	1,907	99.6
	第3回目	1,914	1,879	98.2
	追加	1,914	1,814	94.8

(注) 平成23年4月から肺炎球菌による肺炎及び重症合併症（細菌性髄膜炎など）を予防する目的で一部助成を行っていた。平成25年4月から定期予防接種となった。

## (6) 子宮頸がん予防

□実績

(単位：人)

区分 年度	対象者数	接種件数（延数）				接種率 (%)	対象者数	キャッチアップ接種件数				接種率 (%)
		1回目	2回目	3回目	合計			1回目	2回目	3回目	合計	
30		13	10	8	31							
元		49	42	28	119							
2		238	189	131	558							
3		415	382	284	1,081							
4	2,708	431	407	336	1,174	14.5	13,164	714	559	289	1,562	4.0

(注1) 平成22年11月から平成25年3月まで、接種推奨年齢にあたる中学1年生（平成22年度に限り中学1・2・3年生）の女子に対して、接種費用を区で負担していた。平成25年4月から定期予防接種となった。

(注2) 平成25年6月14日の子宮頸がん予防ワクチンの積極的な接種勧奨の一時差し控えについての勧告以降、個別の接種勧奨は行っていない。

(注3) 令和2年10月9日の子宮頸がん予防ワクチンの積極的な接種勧奨の一時差し控えについての勧告の改正に伴い、子宮頸がんの定期接種に関する情報提供として、高校1年生相当の女子へ周知はがきを送付。令和3年7月に、中学校3年生及び高校1年生相当の女子へ周知はがきを送付。

(注4) 令和4年4月に子宮頸がん予防ワクチンの積極的な接種再開に伴い、中学1年生から高校1年生相当の女子に予診票を送付。

(注5) 令和4年7月末に子宮頸がん予防ワクチンの積極的な接種勧奨の一時差し控えをしている間に定期接種の対象者であった平成9年度から平成17年度生まれまでの女子について、キャッチアップ接種の対象者として予診票を送付。

(7) 水痘（みずぼうそう）

□実績

（単位：人）

区分 年度		対象者数	接 種 時 期					接種率 (%)
			1歳以上 2歳未満	2歳以上 3歳未満	3歳以上 4歳未満	4歳以上 5歳未満	5歳以上 小学校就学前	
30	1回目	2,086	1,923	10				92.7
	2回目	2,086	1,649	246				90.8
元	1回目	2,087	1,859	19				90.0
	2回目	2,087	1,628	213				88.2
2	1回目	1,922	1,882	18				98.8
	2回目	1,922	1,675	226				98.9
3	1回目	1,842	1,722	5				93.8
	2回目	1,842	1,524	171				92.0
4	1回目	<b>1,872</b>	<b>1,778</b>	<b>9</b>				<b>95.5</b>
	2回目	<b>1,872</b>	<b>1,409</b>	<b>156</b>				<b>83.6</b>

（注1）平成24年4月から平成26年9月30日まで水痘-帯状疱疹ウイルスによる感染症を予防するワクチン接種を、対象者に対し一部助成を行っていた。対象者は、区内に在住し、1歳以上7歳未満で、小学校就学前の3月末日までの乳幼児。助成は1人につき1回。

（注2）平成25年度から、新宿区と相互乗り入れを実施（新宿区医師会と契約）。

（注3）平成26年度は9月30日までは任意予防接種。平成26年10月1日から定期予防接種（期間：1歳以上3歳未満、2回接種）となった。

（注4）平成26年度は経過措置として、1歳以上3歳に至るまでの児は2回接種、3歳以上5歳に至るまでの児は1回接種。

(8) ロタウイルス

平成30年4月からロタウイルスによる感染症を予防するワクチン接種を、任意接種として対象者に対し一部助成を行っていたが、令和2年10月1日から定期化している。

対象者は、区内に在住し、平成30年4月1日以降に生まれ、1価の場合生後6週から24週0日、5価の場合生後6週から32週0日までの乳児。助成は1価の場合2回、5価の場合3回。

□実績

区分 年度	ワクチン名	対象者	1回目	2回目	3回目	接種率 (%)
2	ロタリックス（1価）	1,139	310	267		63.4
	ロタテック（5価）		525	440	345	
3	ロタリックス（1価）	2,024	729	711		92.8
	ロタテック（5価）		1,191	1,160	1,122	
4	ロタリックス（1価）	1,914	797	802		96.8
	ロタテック（5価）		1,057	1,054	1,050	

（注）定期化前の数値は[2]任意予防接種の助成に計上。

(9) 肺炎球菌（高齢者）

平成21年度から肺炎が要因で死亡するリスクの高い75歳以上の高齢者のうち、肺炎球菌に感染した時に重症化しやすい、慢性の疾患や特定の疾病を有する高齢者に対して、1人につき1回の肺炎球菌ワクチン接種に対する助成を行なっている。これは肺炎のり患及び重症化の予防及び肺炎球菌ワクチン接種の費用を助成することにより任意の予防接種を勧めることを目的とする。

平成23年度から、対象者を区内在住の75歳以上全員に拡大するとともに5年に1回の助成とした。ただし前回の接種日から5年を経過していない場合は対象としない。

平成26年10月1日から定期予防接種となり、生涯に1回の接種を対象としている。定期接種対象者は①65歳の者②60歳以上65歳未満のものであって、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する者である。なお、令和5年度までは経過措置として、その年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる者が対象となっている。

□実績

(単位：人)

年度	区分	対象者数	実施件数			接種率 (%)	
			総数	一部助成	全額助成 (注1)		
30		30年度65歳,70歳,75歳,80歳,85歳,90歳,95歳,100歳に達した者	12,068	3,336	3,185	151	27.6
元		元年度65歳,70歳,75歳,80歳,85歳,90歳,95歳,100歳に達した者	7,551	1,587	1,501	86	21.0
2		2年度65歳,70歳,75歳,80歳,85歳,90歳,95歳,100歳に達した者	8,872	1,924	1,859	65	21.6
3		3年度65歳,70歳,75歳,80歳,85歳,90歳,95歳,100歳に達した者	8,826	2,828	0	2,828	32.0
4		4年度65歳,70歳,75歳,80歳,85歳,90歳,95歳,100歳に達した者	9,889	2,581	0	2,581	26.1

(注1) 生活保護受給者と、中国残留邦人の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律による支給給付金を受給している方は全額助成。ただし、令和3年度及び令和4年度は、東京都の補助事業実施につき全対象者に全額助成。

(注2) 平成26年度は9月30日まで任意予防接種、平成26年10月1日から定期予防接種となった。

(注3) 対象者の中には上記②に該当する60歳以上65歳未満の者を含む。

(10) B型肝炎

平成27年4月1日からB型肝炎ウイルスによる感染症を予防するワクチン接種の助成を行なっている。接種の費用を助成することにより、任意の予防接種を勧めることを目的とする。

対象者は、区内に在住する2か月から1歳に至るまでの乳児で、助成回数は1人につき最大3回。なお、平成27年度に限り、経過措置として2歳に至るまでが対象。

平成28年10月1日より定期接種化された。定期接種の対象者は平成28年4月1日以降に生まれた、生後1歳に至るまでの児。平成28年3月31日以前に生まれた児に対しては、引き続き1歳に至るまで任意接種の助成を行なった。



□実績

(単位：人)

年度	区分	対象者数 (延)	接種回数			接種率 (%)
			1回目	2回目	3回目	
定期	30	6,423	2,033	2,025	1,924	93.1
	元	6,132	1,951	1,958	1,904	94.8
	2	5,928	1,756	1,810	1,858	91.4
	3	6,072	1,942	1,906	1,740	92.0
	<b>4</b>	<b>5,742</b>	<b>1,866</b>	<b>1,877</b>	<b>1,768</b>	<b>96.0</b>

(注) 平成28年度の任意接種対象者には、平成28年9月30日までは平成28年4月1日以降に生まれた2か月から1歳に至るまでの児を含む。平成28年10月1日以降は、平成28年3月31日以前に生まれた1歳に至るまでの児のみ。

(11) 定期予防接種費用助成事業

平成28年度から、実施依頼書に基づいて23区外の依頼先にて定期予防接種を受け、依頼先自治体の費用助成がなく実費を負担した場合の費用助成を始めた。

□実績

(単位：人)

年度	区分	助成人数 (延)	内 訳	
			子ども	高齢者
30		103	87	16
元		93	77	16
2		225	160	65
3		180	141	39
<b>4</b>		<b>159</b>	<b>117</b>	<b>42</b>

(12) 風しん[第5期]

平成31年2月1日から令和4年3月31日までの間に限り、風しんに係る公的接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性が定期の予防接種の対象者として追加されることとなった。さらに、令和4年3月までの目標達成が困難なため、期限を令和7年3月末までに延長している。

対象者には抗体検査と予防接種に利用できるクーポン券を送付。まずは抗体検査を受診。検査の結果、十分な抗体がない者が定期予防接種の対象。クーポンの利用により、抗体検査予防接種とも原則無料で受けることができる。

□実績

(単位：人)

年度	区分	発送件数 (一斉)	風しん 第5期	実施者数	受診率・接種率 (%)
元		18,052	抗体検査	1,836	10.2
			予防接種	406	2.2
2		36,350	抗体検査	2,168	5.9
			予防接種	404	1.1
3		0	抗体検査	854	2.5
			予防接種	205	0.5
4		0	抗体検査	593	1.8
			予防接種	146	0.4

(注1) 令和元年度の発送対象は、昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれと希望者。

(注2) 令和2年度の発送対象は、昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれと希望者。

(注3) 令和4年7月に、風しん抗体検査及び風しん第5期予防接種実施期間延長に関するお知らせを未実施の対象者へ周知はがきとして送付。

## [2] 任意予防接種の助成

### (1) 麻しん・風しん予防接種の経過措置

平成18年度から麻しん・風しん予防接種は、混合ワクチン第1期・第2期の2回接種となった。これに伴い、定期を過ぎた2歳から第2期対象以前の未接種者と小学校1年生の未接種者に対し、豊島区独自の経過措置（任意接種の全額助成）を設けた。

また、平成20年度から、第3期（中学1年生相当）第4期（高校3年生相当）の定期予防接種が追加されたことに伴い、平成21年度から中学2年生の第3期末接種者も加え、対象を拡大した。

さらに、平成23年7月11日から、麻しんの感染及び拡大防止を強化するため、定期接種対象者を除く2歳から18歳未満までの定期予防接種未接種者について2回までの助成を行なった。

平成25年3月末をもって第3期・第4期が終了したことに伴い、平成25年4月1日からは、対象を2歳から18歳までに拡大した。

### □接種回数

年 齢	所要接種回数
2歳から就学1年前に達する日にいたるまでの間	1回
小学校1学年に相当する年齢から18歳までの間	2回

### □実績

(単位：人)

区分 年度	2歳～ 第2期対象以前			小学校1年生 ～18歳まで			小学校1年生～ 6年生			中学校2年生 ～18歳まで		
	麻しん・ 風しん	麻しん	風しん	麻しん・ 風しん	麻しん	風しん	麻しん・ 風しん	麻しん	風しん	麻しん・ 風しん	麻しん	風しん
30	17	0	0	101	0	0	/	/	/	/	/	/
元	17	0	0	66	0	0	/	/	/	/	/	/
2	17	0	0	49	0	0	/	/	/	/	/	/
3	9	0	0	44	0	0	/	/	/	/	/	/
4	6	0	0	35	0	0	/	/	/	/	/	/

(2) おたふくかぜ

平成24年4月からムンプスウイルスによる感染症を予防するワクチン接種を、対象者に対し一部助成を行なっている。おたふくかぜワクチン接種の費用を助成することにより、任意の予防接種を勧めることを目的とする。

当初の対象者は、区内に在住し、1歳以上7歳未満で、小学校就学前の3月末日までの乳幼児。助成は1人につき1回。

平成25年度から、新宿区と相互乗り入れを実施（新宿区医師会と契約）。

平成28年度より全額助成となり、対象者が1歳から3歳に至るまでに変更された。ただし、平成28年度に限り経過措置として、7歳未満で小学校就学前の3月末日までの者も対象とした。

□実績

(単位：人)

区分 年度	接 種 時 期						接種率 (%)
	対象者数	1歳以上 2歳未満	2歳以上 3歳未満	3歳以上 4歳未満	4歳以上 5歳未満	5歳以上 小学校就学前	
30	2,086	2,005	97				100.8
元	2,087	1,968	90				98.6
2	1,922	1,906	72				102.9
3	1,842	1,654	56				92.8
4	<b>1,872</b>	<b>1,821</b>	<b>72</b>				<b>101.1</b>

(3) ロタウイルス

平成30年4月からロタウイルスによる感染症を予防するワクチン接種を、対象者に対し一部助成を行なっている。ロタウイルスワクチン接種の費用を助成することにより、任意の予防接種を勧めることを目的とする。令和2年10月1日より定期化している。

対象者は、区内に在住し、平成30年4月1日以降に生まれ、1価の場合生後6週から24週0日、5価の場合生後6週から32週0日までの乳児。助成は1価の場合2回、5価の場合3回。

区分 年度	ワクチン名	対象者	1回目	2回目	3回目	接種率 (%)
30	ロタリックス (1価)	2,141	442	409		66.1
	ロタテック (5価)		1,125	984	861	
元	ロタリックス (1価)	2,044	559	551		91.4
	ロタテック (5価)		1,303	1,328	1,304	
2	ロタリックス (1価)	837	287	365		122.2
	ロタテック (5価)		596	695	804	

(注) 定期化後の数値は[1]定期予防接種に計上。

(4) 先天性風しん症候群対策

平成 24 年からの風しんの流行により、平成 25 年 4 月から先天性風しん症候群の発生防止を目的とした風しんの予防接種を全額助成で実施している。平成 26 年度から風しんの抗体検査を実施するとともに、抗体価の低い方に予防接種を実施している。

対象者は、本区に住民登録があり、妊娠を希望する女性・妊娠を希望する女性のパートナー又は同居者で風しんの抗体価が低い方、風しんの抗体価が低い妊婦のパートナー又は同居者。

□実績

(単位：人)

区分 年度	対象者	麻しん・ 風しん混合 (MR)	風しん	合 計
30	男	530	71	601
	女	748	184	932
	合計	1,278	255	1,533
元	男	283	9	292
	女	524	104	628
	合計	807	113	920
2	男	212	10	222
	女	389	34	423
	合計	601	44	645
3	男	171	19	190
	女	344	21	365
	合計	515	40	555
4	男	194	10	204
	女	339	21	360
	合計	533	31	564

(注)風しん抗体検査実績は、15. 感染症対策 [7]先天性風しん症候群予防対策事業を参照。